

音 × AI の スペシャリスト
人工知能を活用して音を可視化する

【補足説明資料】セキュア議事録AI「オンプレZMEETING」について

2025年7月25日

- ・ H m c o m m株式会社について
- ・ AI議事録作成ツール「ZMEETING」とは
- ・ セキュア議事録AI「オンプレZMEETING」の3つの特徴
- ・ オンプレミス生成AIを選ぶ理由 —5つの利点—
- ・ 東京科学大学開発の国産LLM「Swallow」の採用理由
- ・ 産総研開発の音声認識エンジン「くしなだ」への対応
- ・ 免責事項



会社名	Hm c o mm株式会社（エイチエムコム）
------------	------------------------

上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：265A）
-------------	---------------------------

設立	2012年07月24日
-----------	-------------

代表者	代表取締役社長CEO 三本 幸司
------------	------------------

事業内容	音声認識処理、異音検知・自然言語解析処理を用いたプラットフォームの提供 情報技術（IT）、人工知能、ロボット工学などの音に関するサイバニクス事業の推進
-------------	--

所在地	東京都港区芝大門2-11-1 富士ビル 2階
------------	------------------------

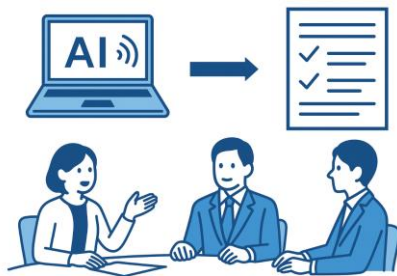
ZMEETING[®]

<https://zmeeting.hmcom.co.jp/>



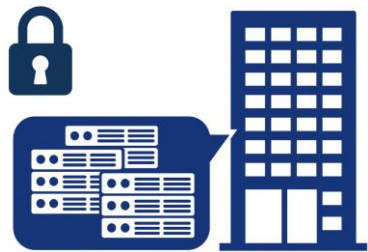
Web会議の内容を自動でAIがテキスト化（自動文字起こし）

ZMEETINGは、産業技術総合研究所発のベンチャー企業である、Hmcomm株式会社が開発したAI議事録作成ツールです。独自の高度な音声処理技術を活用し、議事録の自動作成からデータ分析による会議内容の「見える化」までを実現します。



【特徴1：日本語特化型AIで会議情報を価値に変える】

- ・ 国産LLM「Swallow」（東京科学大学が開発した日本語特化型の大規模言語モデル）を中核技術として搭載しており、日本語の曖昧な言い回しや会話特有の文脈も高精度に理解可能です。
- ・ 曖昧な表現や複雑な文脈も正確に捉える要約機能により、議論の流れを的確に把握しながら、会議中に出た重要な論点や意思決定事項を自動的に抽出します。
- ・ 会議終了直後に即時の要約を提供することで、迅速な意思決定や関係者間での情報共有を支援します。



【特徴2：完全オンプレミスで最高水準のセキュリティ】

- ・ 社内サーバー内で全プロセスを完結させるネットワーク遮断型アーキテクチャを採用し、インターネットに一切接続しない構成により、高い安全性を確保します。
- ・ 金融機関・官公庁・医療機関等、厳格なセキュリティが求められる現場にも柔軟に対応可能です。
- ・ 音声認識エンジンは、オープンソースの高精度モデル「Whisper」をベースとした構成を採用し、用途に応じて話者分離対応モデルや、産総研が開発した「くしなだ」なども選択できます。



【特徴3：柔軟なセキュリティ対策とデータ保護】

- ・ お客様ごとのセキュリティポリシーに柔軟に対応し、アクセス制限、操作ログの管理、ユーザー権限の詳細な設定など、システム運用に応じた多様なカスタム構成に対応可能です。
- ・ マスキング機能やエイリアス機能により、個人情報や機密情報を自動的に保護しつつ、必要に応じて元の情報に復元するなど、利便性と安全性の両立した構成が可能です。
- ・ 万が一の情報漏洩に備え、機密情報の流出を防ぐための堅牢な設計を今後採用していきます。



1. データセキュリティ・プライバシーの確保

- ・ 社外ネットワークにデータを出さず、ローカル環境で処理が完結
→医療・金融・公共機関など機密性の高いデータを扱う業種に最適
- ・ クラウドと異なり、データが外部サーバに保存されない構成も可能



2. カスタマイズ性・拡張性の高さ

- ・ 自社のデータを活用して、継続的に精度や使い勝手を向上
- ・ 動作環境や支援機能も、自社の業務に最適な形で自由に設計
- ・ APIや社内業務システムとの密接な連携・統合も可能



3. ランニングコストの最適化（中長期的）

- ・ 初期費用は発生するが、クラウド型の従量課金制（例：トークン課金）に比べて割安
- ・ 利用量が増えるほど、システム全体の運用コストを最適化
- ・ インフラやライセンスを自社で管理することで、将来的なコスト最適化が可能



4. 生成AIのブラックボックス性を排除

- ・ AIの動きや記録を細かく確認できるため、社内ルールや倫理方針への対応が容易
- ・ 高い応答性が求められる製造現場の監視や医療分野での活用に最適



5. 通信遅延なし・高いリアルタイム性

- ・ クラウドに依存せず、ローカル環境で即時に処理を実行
- ・ 高速な対応が求められる製造現場や医療現場などに最適な構成



Swallow LLM

東京科学大学（旧・東京工業大学）情報理工学院の岡崎研究室と横田研究室を中心に、大規模言語モデルの研究・開発をしています。

↓ VIEW ON HUGGINGFACE

<https://swallow-llm.github.io/index.ja>



『Swallow』採用による高精度な議事録生成の実現

中核技術として、日本語に特化した大規模言語モデル「Swallow」を採用し、高精度な自然言語理解と要約を実現します。重要会議の情報を迅速かつ的確に整理しながら、オンプレミス環境により高いセキュリティと機密性を確保します。

発表・掲載日：2025/03/10

日本語音声基盤モデル「いざなみ」「くしなだ」を公開



ー少量の日本語音声データで高性能な音声AIを構築可能にー



日本語音声基盤モデル「いざなみ」「くしなだ」を用いた音声AIの構築
少量の学習データのため低性能だった音声AIの性能を日本語音声基盤モデルで得られる音声の特徴表現を用いて改善

国立研究開発法人産業技術総合研究所は少量の日本語音声データで高性能な感情認識や音声認識を構築可能とする日本語音声基盤モデル「いざなみ」「くしなだ」を公開しました。

概要

- ・豊かな感情表現を含む6万時間の日本語音声データから2種類の日本語音声基盤モデルを構築
- ・モデルの改良が容易な「いざなみ」と感情認識や音声認識の能力がより高い「くしなだ」を一般公開
- ・少量データを活用した音声AIの構築・普及に貢献

選べる音声認識エンジン × オンプレ構成で高セキュリティ運用を実現

産総研開発の「くしなだ」や「Whisper」など、用途や業務要件に応じて最適な音声認識エンジンを柔軟に選定します。全体構成はインターネット非接続のオンプレミス環境で構築され、高いセキュリティ要件にも対応可能です。

- ・本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。
- ・本資料には、いわゆる「将来の見通し（forward-looking statements）」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。
- ・なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。

